

キャリアショップの展開状況と店舗・代理店一覧
2025春
(集計結果編)

2025年5月19日

株式会社 **MCA**

調査レポート「キャリアショップの展開状況と店舗・代理店一覧 2025春」特長

New

『直近半年間で運営代理店が変化した店舗』を、前回調査データとの差分から推定～24年9月との比較で、該当する93店舗を抽出。差分一覧をExcelデータ化。

- ・前回(24年9月)に引き続き、キャリアショップの運営代理店を調査し、全体の97%にあたる6,791店について代理店名を併記。
- ・前回と今回の調査データを比較し、代理店に差分がでた店舗の抽出を行い、代理店が変化したキャリアショップを初推定。93店舗で差分が出ており、一覧をExcelデータとして取りまとめました。

※業界が一次店・二次店などの多層構造となっているため、複数の代理店が確認できた際には、1つの店舗に対して最大2つの代理店を店舗一覧データにて記載している。ただし、一次店・二次店の判定は行っていない。

【代理店差分一覧 データサンプル】

店名	運営代理店		
	2024年9月	2025年3月	参考情報
ソフトバンク〇〇	株式会社××	株式会社△△	事業譲渡
ソフトバンク〇△	株式会社×□	株式会社△〇	
ソフトバンク△□	株式会社□□	株式会社〇〇	代理店破産

※データはExcelファイル形式での提供となります。

※参考情報の記載は一部店舗に限られます。

New

「ドコモショップサテライト」を調査対象に追加～170店を一覧に

- ・ドコモショップの周辺にある商業施設など人が多く集まる場所に、ショップが“支店”を出す「ドコモショップサテライト」の取り組みにNTTドコモが注力していることから、今回より「ドコモショップサテライト」も調査対象に加えた。
- ・今回の調査では170店舗が確認された。その結果をもとに、ドコモショップとドコモショップサテライトの店舗数比較(都道府県別、地域別)や、ドコモショップサテライトの店舗一覧データを新たに追加した。

※ただし、今回の調査では、ドコモショップサテライトを弊社調査における「キャリアショップ」には含めていない。

UP

2025年3月時点の店舗情報を網羅過去からの推移、前回差分のデータも

25年3月時点のキャリアショップ6,999店舗を全てExcelデータ化。PDFレポートでは過去からの推移等をグラフ化。

■本レポートに付属するExcelデータ

①店舗一覧

店舗名、住所、URLなどの基本情報に加え、運営代理店名も記載(一部、記載のない店舗があります)

②キャリアショップ数の都道府県別推移

2019年以降の店舗数推移を記載(20年以降は年2回調査)

③前回調査との差分リスト

状況変化の参考として、前回調査と比較し「店舗」「(同一店舗における)代理店」で差分が生じたデータをそれぞれ抽出

調査レポートサンプル

目次

はじめに	2
調査概要	3
I. キャリアショップ展開状況	
1. 各社キャリアショップの展開	6
図：キャリアショップ数の推移（単位：店舗）	
図：国内キャリアショップ数（ブランド別）	
図：メインブランドのキャリアショップ数推移	
図：企業別のキャリアショップ数推移	
図：楽天モバイル/サブブランドのキャリアショップ数推移	
2. 多様化する店舗網	
ダブルブランド店／量販店の活用状況	9
図：キャリアショップとダブルブランド店（単位：店舗）	
表：楽天モバイルの店舗展開（単位：店舗）	
「ドコモショップサテライト」の展開状況	10
表：ドコモショップサテライトにおける主な手続きの受付可否	
図：ドコモショップ／ドコモショップサテライトの地域別分布	
表：都道府県別 ドコモショップ／ドコモショップサテライト店舗数	
図：都道府県別 ドコモショップ／ドコモショップサテライト店舗数	
3. 各社キャリアショップの店舗数（都道府県別）	13
図：都道府県別 キャリアショップ減少状況	
図：都道府県×ブランド 店舗増の状況	
表：キャリアショップ数（ブランド別）（都道府県別）	
表：キャリアショップ数 都道府県別の増減状況	
表：キャリアショップ数 都道府県×ブランド別 増減比較	
4. キャリアショップの地域別分布	17
図：各社キャリアショップの地域別分布	
表：各社キャリアショップの地域別分布	
図：地域別の各社キャリアショップ比率	
表：地域別の各社キャリアショップ比率	

5. 地域別キャリアショップ数の推移	21
表：各社キャリアショップの地域別比率（約3年前との比較）	
－地域別キャリアショップ数の推移【北海道】	
－地域別キャリアショップ数の推移【東北】	
－地域別キャリアショップ数の推移【南関東】	
－地域別キャリアショップ数の推移【北関東/甲信】	
－地域別キャリアショップ数の推移【北陸】	
－地域別キャリアショップ数の推移【東海】	
－地域別キャリアショップ数の推移【近畿】	
－地域別キャリアショップ数の推移【中国】	
－地域別キャリアショップ数の推移【四国】	
－地域別キャリアショップ数の推移【九州/沖縄】	
II. キャリアショップ数運営代理店の状況	
1. キャリアショップ運営代理店 調査概要	33
表：運営代理店の判明状況	
2. キャリアショップ運営代理店の状況	34
表：キャリアブランド別の運営代理店数	
表：地域別の運営代理店数（判明した全代理店で集計）	
表：地域別の運営代理店数（1店舗1代理店で集計）	
3. 運営代理店が変化したキャリアショップ	37
表：運営代理店に差分のあった店舗数（半年前との比較）	
表：主な代理店移管店舗と移管の要因	
III. キャリアショップ数の都道府県別推移	
1. キャリアショップ数の都道府県別推移（2022年8月以降）	34
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【ソフトバンク】	
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【NTTドコモ】	
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【au(KDDI)】	
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【ワイモバイル】	
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【楽天モバイル】	
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【UQ mobile】	
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【6ブランド合計】	

はじめに

携帯回線の契約獲得やサポートの中核拠点であるキャリアショップだが、端末価格高騰による買い換えサイクル長期化やキャリア各社のオンラインシフトの影響で来店客数の増加は見込みにくい状況が続いている。また、接客業のなかでも過酷といわれる業務環境でスタッフの離職率は高く、慢性的な人材不足が店舗運営に影を落としており、店舗をとりまく環境は厳しさを増している。

実際、キャリアショップ数は、約3年前(2022年2月)には8,000店を超えていたが、2025年3月には7,000店割れの6,999店舗となり、約1,020店舗も減少している。

このように全体的な減少トレンドは継続しているものの、店舗網を再び活用しようとする動きも出始めた。NTTドコモは、22年度から25年度までの3年間で約700店削減する方向を打ち出していたが、約3年前からの減少幅は260店にとどまっている。2022年から23年にかけては半年ごとに50店舗を超えるペースで店舗減が続いていたが、直近では微減に落ち着いており、方針を転換させたことはデータ上から容易に推察できる。あわせて、ドコモショップの周辺にある商業施設など人が多く集まる場所に、ショップが“支店”を出す「ドコモショップサテライト」の取り組みに注力しており、全国で170店舗の展開が確認された。また、他キャリアと同様に店舗の減少が続いていた楽天モバイルは、この半年間で10店舗の増加に転じるなど、削減一辺倒の状況に変化の兆しも出始めた。

本レポートでは、キャリア各社の店舗網を分析することにより、各社の顧客接点確保の状況を明らかにすることを目的としている。あわせて、分析に用いた店舗一覧をデータとして添付することで、独自の分析・集計も可能にした。また、代理店再編が進んでいることを踏まえ、キャリアショップの運営代理店についても調査を実施している。全店舗の約97%にあたる6,791店舗の運営代理店名も店舗一覧データに収録した。今後の店舗展開や店舗の実態把握の一助となれば幸いである。

2025年5月
株式会社MCA

調査概要

・調査対象通信ブランド

ソフトバンク、NTTドコモ、au、ワイモバイル、楽天モバイル、UQ mobile
(対象企業:ソフトバンク、NTTドコモ、KDDI、楽天モバイル、沖縄セルラー)

・調査対象店舗および「キャリアショップ」の定義

調査対象店舗(データ編において店舗一覧として収録しているもの)は下記表の通り。
また、本レポートでは、表中の赤枠内を「キャリアショップ」と定義している。

NTTドコモ	ドコモショップ	d garden	ドコモショップサテライト	
au	auショップ	au Style/KDDI直営店 ／コンセプトショップ	UQスポット (au取扱店)	トヨタ au取扱店
ソフトバンク	ソフトバンクショップ			
ワイモバイル	ワイモバイルショップ	ソフトバンクショップ (ワイモバイル取扱店)	取扱店	
UQ mobile	UQスポット	UQ mobile取扱店 (au Style / auショップ内併設)	UQ mobile取扱店	
楽天モバイル	楽天モバイルショップ (楽天カフェ等含む)	楽天モバイル取扱店 ／リモート契約ショップ		

・調査方法

2025年3月末～4月上旬時点における、各社公開情報や弊社データベースなどをもとに、2025年3月末～5月にかけてMCAが独自に分析・調査を行った。

調査概要

・地域区分について

総務省「[地域別表章に関するガイドライン](#)」の「類型I」を基本に、関東は「南関東」と「北関東/甲信」の2つに細分化した。また、九州と沖縄は統合し「九州/沖縄」とした。

北海道	北海道	東海	静岡県／愛知県／岐阜県／三重県
東北	青森県／岩手県／秋田県／宮城県／山形県／福島県	近畿	滋賀県／京都府／大阪府／兵庫県／奈良県／和歌山県
南関東	埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県	中国	鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県
北関東/甲信	茨城県／栃木県／群馬県／山梨県／長野県	四国	香川県／愛媛県／徳島県／高知県
北陸	新潟県／富山県／石川県／福井県	九州/沖縄	福岡県／佐賀県／長崎県／熊本県／大分県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

I. キャリアショップ展開状況

1.各社キャリアショップの店舗数推移

サンプル

キャリアショップ数は半年で143店減の6999店に

- ・4キャリア(ワイモバイル、UQ mobileを含む6ブランド)が展開するキャリアショップは、全国に6999店舗存在している。前回(2025年3月)の7142店から143店(2.0%)、減少した。
- ・6ブランドで最も減少幅が大きかったのはワイモバイルで、前回と比べ71店減となった。2019年には900店を超える店舗を展開していたが、ソフトバンクとワイモバイルの両方を取り揃える“ダブルブランド店”を拡大したこともあり現在は380店まで減少している。
- ・4キャリアのメインブランドでは、auの42店減が目立っている。約1年前の2024年2月には2009店舗あったが、5%近い105店も減少している。なお、同じ期間においてソフトバンクは32店減、NTTドコモは28店減だった。
- ・なお、量販店内に設置されているコーナーならびに併売店などの取扱店は、本調査においてはキャリアショップとしてカウントしていない。

楽天モバイルはこの半年で10店舗増に

- ・直近の調査では6ブランドが揃って減少を続けてきたが、今回唯一楽天モバイルだけが反転し、店舗増を記録した。24年9月の335店舗から10店増の345店舗となった。
- ・サブブランドの店舗数は減少が続き、ワイモバイルが380店、UQ mobileが160店となった。

企業別ではソフトバンクの店舗数が際立つ

- ・ソフトバンクとKDDIは、サブブランドの店舗も抱えている。ブランド別ではなく企業別に店舗数をみると、ソフトバンクが2542店舗で、KDDIの2064店舗、NTTドコモの2048店舗と比較し、500店ほど上回っている。

図: キャリアショップ数の推移(単位: 店舗)

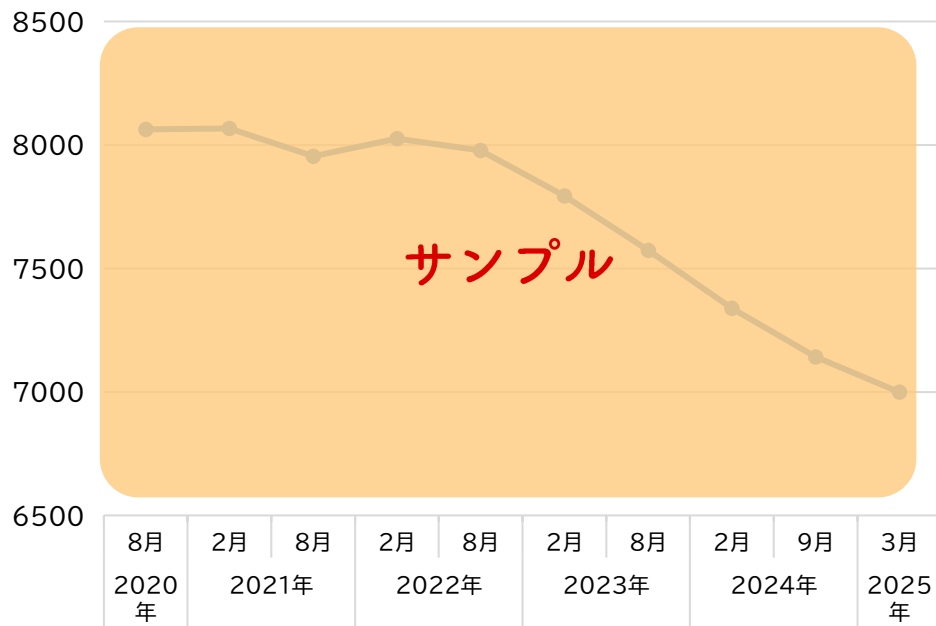
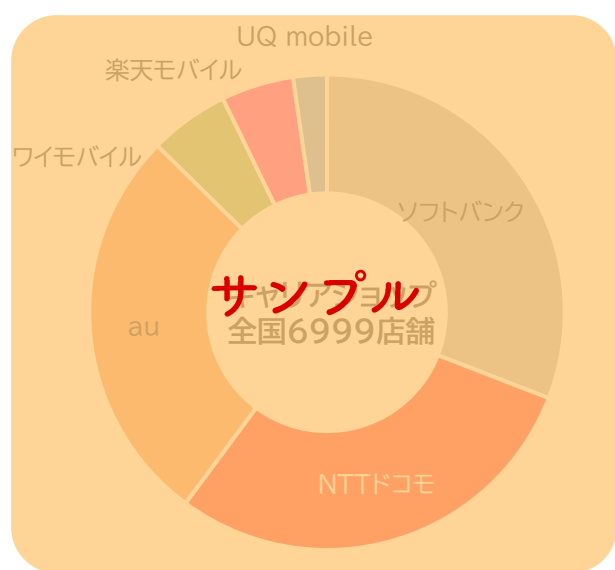


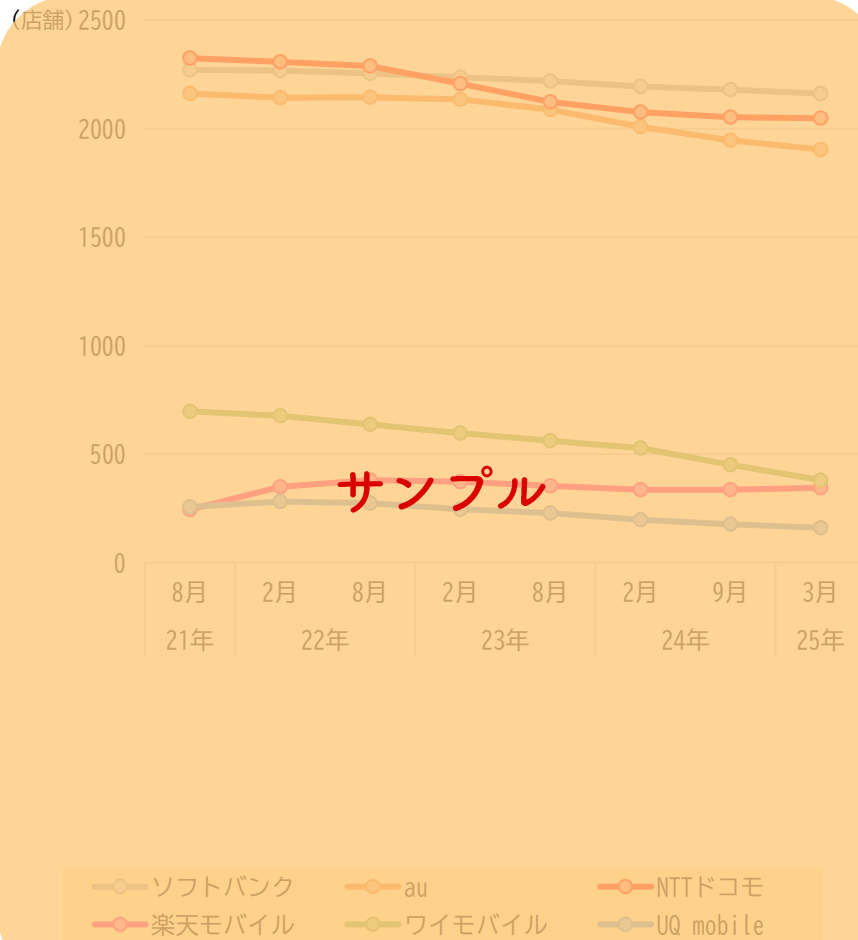
図: 国内キャリアショップ数(ブランド別)



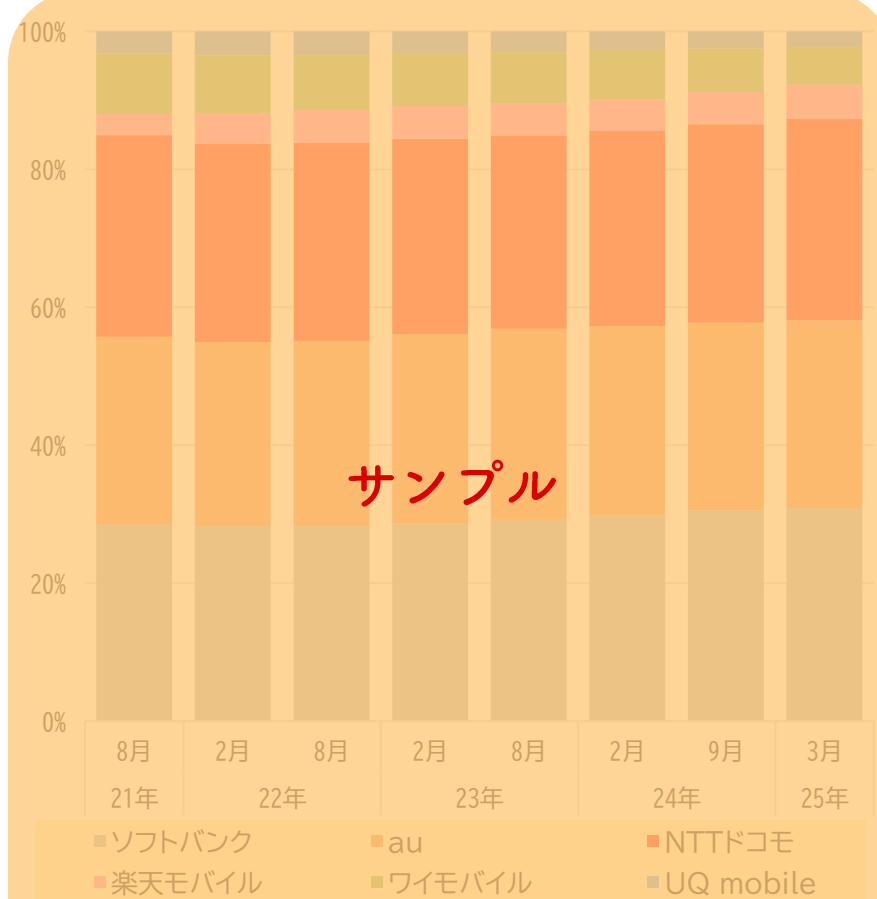
1.各社キャリアショップの店舗数推移

サンプル

図：ブランド別キャリアショップ数推移



図：ブランド別キャリアショップ数比率推移



2.多様化する店舗網:「ドコモショップサテライト」の展開状況

サンプル

「3年間で700店閉鎖」から一転、店舗網を活かす方向へ

・NTTドコモは、2022年ごろに「3年間で700店を削減」する方針を打ち出し、ある種“店舗軽視”の姿勢を打ち出したが、直近では店舗網を改めて活用する動きが相次いでいる。

・1つは当初方針だった大幅削減の見直しが挙げられる。ドコモショップは約3年前(22年2月)の2308店舗から2048店舗へと、260店しか減少していない。2022年から23年にかけては半年ごとに50店舗を超えるペースで店舗減が続いていたが、直近では微減にとどまっており、方針の見直しはデータ上からも明らかだ。

ドコモショップサテライトは170店舗、一定規模に

・そしてもう1つの大きな動きが「ドコモショップサテライト」の活用だ。ドコモショップの周辺にある商業施設など人が多く集まる場所に、ショップが“支店”を出すイメージで、来店予約なしで利用可能となっている。通常のドコモショップと異なり、解約や修理受付など一部の受付は行えないが、新規契約や機種変更などほとんどの手続きが可能となっている。

・今回、「ドコモショップサテライト」について調査を実施したところ、25年2月時点で170店舗の存在が確認された。XX県 XX県 XX

サンプル

表:ドコモショップサテライトにおける主な手続きの受付可否

受付可能	受付不可
サンプル	

図:ドコモショップ／ドコモショップサテライトの地域別分布

サンプル

※店舗により、状況が異なる場合がある。

2.多様化する店舗網:「ドコモショップサテライト」の展開状況

サンプル

表:都道府県別 ドコモショップ／ドコモショップサテライト 店舗数(単位:店舗)

	ドコモ ショップ サテライト	ドコモ ショップ	合計	サテライト 比率
北海道				
青森県				
岩手県				
秋田県				
宮城県				
山形県				
福島県				
茨城県				
栃木県				
群馬県				
埼玉県				
千葉県				
東京都				
神奈川県				
山梨県				
長野県				
新潟県				
富山県				
石川県				
福井県				
静岡県				
愛知県				
岐阜県				
三重県				

サンプル

	ドコモ ショップ サテライト	ドコモ ショップ	合計	サテライト 比率
滋賀県				
京都府				
大阪府				
兵庫県				
奈良県				
和歌山県				
鳥取県				
島根県				
岡山県				
広島県				
山口県				
香川県				
愛媛県				
徳島県				
高知県				
福岡県				
佐賀県				
長崎県				
熊本県				
大分県				
宮崎県				
鹿児島県				
沖縄県				
合計				

サンプル

※「サテライト比率」:

ドコモショップとドコモショップサテライトの合計店舗数に占める、ドコモショップサテライトの割合を示す。

4. キャリアショップの地域別分布

サンプル

ソフトバンクは東海、楽天モバイルは南関東の比率が高め
・キャリアショップ(企業別)の地域別分布状況を見ると、全体では南関東が23.2%で最も多く、近畿が2番手、東海と九州/沖縄がほぼ同数で3番手、となった。
・各社ごとに地域別分布には濃淡があらわれた。NTTドコモは、4社

サンプル

・KDDIは、

サンプル

地域別店舗数では、ソフトバンクが10地域中X地域で最多
・地域別で各社の店舗数を比較すると、ソフトバンクは北海道、東北

サンプル

図: 各社キャリアショップの地域別分布

※KDDIにはUQ mobile、ソフトバンクにはワイモバイルの店舗数を含む

サンプル

4.キャリアショップの地域別分布

サンプル

表:各社キャリアショップの地域別分布

※KDDIにはUQ mobile、ソフトバンクにはワイモバイルの店舗数を含む

	合計	北海道	東北	南関東	北関東/ 甲信	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州/沖 縄
ソフトバンク	100.0%										
KDDI	100.0%										
NTTドコモ	100.0%										
楽天モバイル	100.0%										
(全体)	100.0%										

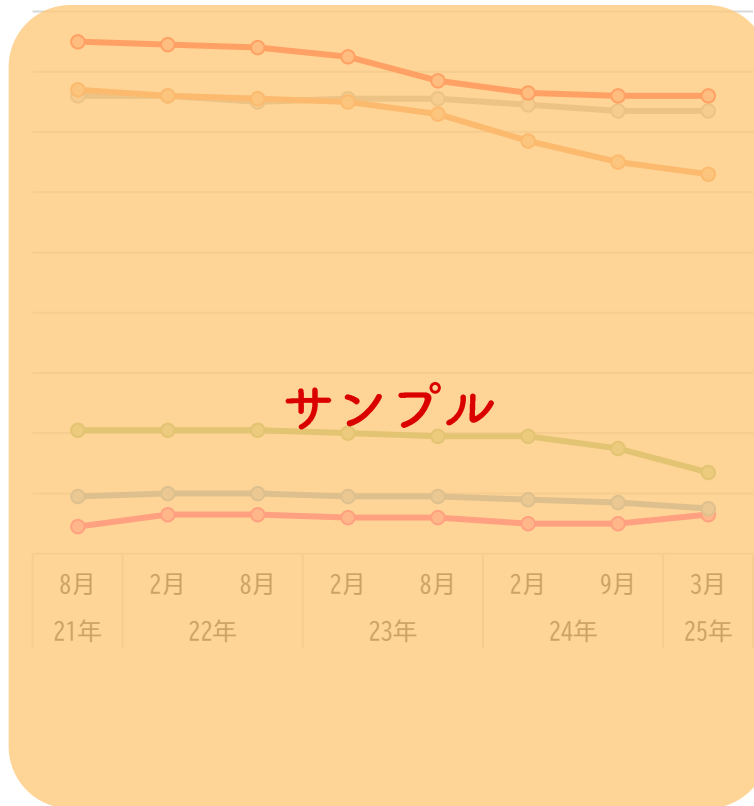
サンプル

5.地域別キャリアショップ数の推移【XXX地方】

サンプル

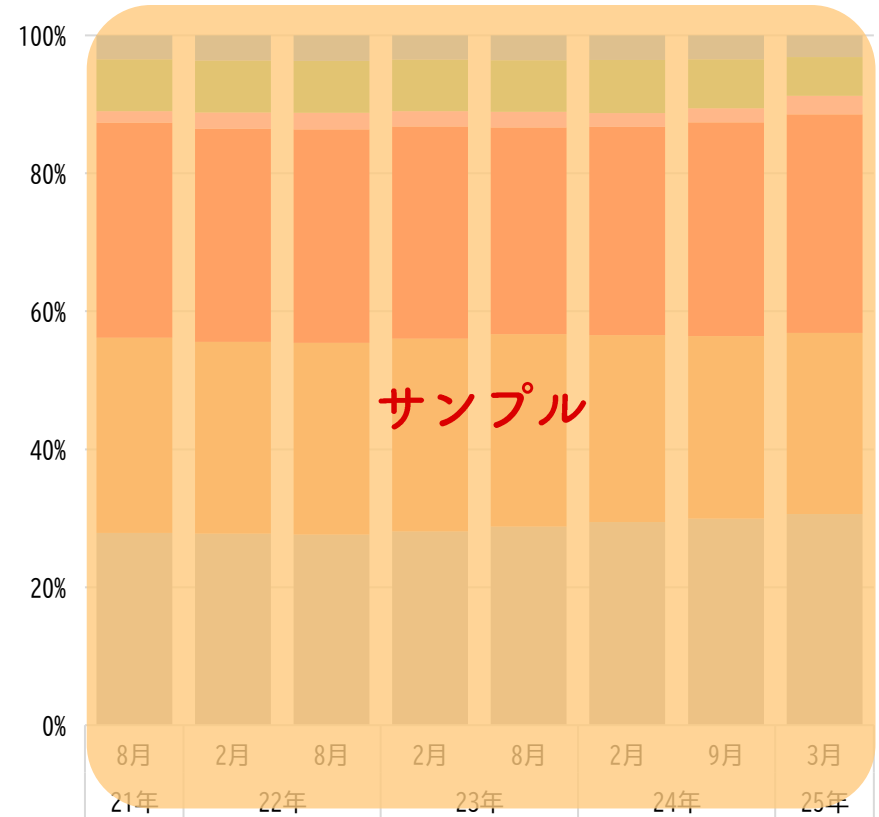
図:XXXにおける各社キャリアショップ数推移

(店舗)



ソフトバンク au NTTドコモ
 楽天モバイル ワイモバイル UQ mobile

図:XXXにおける各社キャリアショップ数比率推移



ソフトバンク au NTTドコモ
 楽天モバイル ワイモバイル UQ mobile

II. キャリアショップ運営代理店の状況

1.キャリアショップ運営代理店 調査概要

店舗を運営する代理店を調査し、全体の約97%を網羅

- ・当レポートにおいて「キャリアショップ」と定義した店舗に対しては、運営代理店の調査も実施した。調査により、キャリアショップ6,999店舗のうち、97.0%にあたる6,791店舗の運営代理店名が判明した。
- ・各店舗の運営代理店は、同梱している店舗一覧データ(Excelファイル)に記載している。
- ・なお、調査に際しては実際に運営している代理店の確認を進めたが、業界が一次店・二次店などの多層構造となっているため、一次店など上位の代理店しか判明しなかった場合もある。逆に、運営する代理店

のみ判明し、上位の代理店が不明の場合もある。

- ・複数の代理店が確認できた際には、1つの店舗に対して最大2つの代理店を店舗一覧データにて記載している。
- ・なお、データ上「代理店」「代理店(2)」の2つの列を設けているが、「代理店」欄が上位代理店、「代理店(2)」欄が運営代理店といった取引構造関係は考慮していない。
- ・以下、本章における運営代理店の状況分析は、代理店が判明した6,791店舗を対象とした。キャリアショップ全店舗の状況を正確に表すものではない点に留意されたい。

表:運営代理店の判明状況

	キャリア ショップ数	代理店判明 店舗数	判明比率
ソフトバンク	サンプル		99.9%
NTTドコモ			99.5%
au			98.5%
楽天モバイル			55.0%
ワイモバイル			96.0%
UQ mobile			100.0%
合計	6,999	6,791	97.0%

2. キャリアショップ運営代理店の状況

サンプル

キャリアショップの運営代理店はX00社弱

・今回の調査で代理店が判明した6,791店舗を対象に、運営代理店数を集計したところ、6ブランド全体でXXX社となった。この数字は、上位代理店と運営代理店など1つの店舗で2社の代理店が判明した場合に、その両方を集計対象とした店舗1店舗1代理店に絞って集計した場合は、XXX社となる。

サンプル

代理店1社あたり店舗数、ソフトバンクが他の2倍以上に

・ブランド別に代理店社数をみると、NTTドコモがXXX社、auがXXX社と、2ブランドともX00社近い代理店網を抱えていることが判明した。一方で、店舗数を最も多く抱えるソフトバンクは、2つのブランドと比べて100社以上少ないX社となった。

・そのため、店舗数と代理店社数から「代理店1社あたりの店舗数」を算出すると、ソフトバンクがXX.X店舗で、他のブランドと比較し2倍以上という結果となった。

サンプル

表: キャリアブランド別の運営代理店数

	代理店 判明 店舗数	1店舗1代理店で集計		判明した全代理店で集計	
		代理店 社数	代理店1社 あたり店舗数	代理店 社数	代理店1社 あたり店舗数
ソフトバンク					
NTTドコモ					
au					
楽天モバイル					
ワイモバイル					
UQ mobile					
合計	6,791				

サンプル

※複数ブランドを運営する代理店があるため、全体の代理店社数は、ブランドごとの代理店数の合計とは一致しない。

2.キャリアショップ運営代理店の状況

サンプル

表:地域別の運営代理店数(判明した全代理店で集計)

	代理店社数							代理店1社あたり店舗数						
	ソフトバンク	NTTドコモ	au	ワイモバイル	楽天モバイル	UQ mobile	全体	ソフトバンク	NTTドコモ	au	ワイモバイル	楽天モバイル	UQ mobile	全体
北海道														
東北														
南関東														
北関東/甲信														
北陸														
東海														
近畿														
中国														
四国														
九州/沖縄														
合計														

サンプル

3. 運営代理店が変化したキャリアショップ

サンプル

半年前のデータとの差分で代理店が変化した店舗を抽出

- ・今回の調査結果と、半年前(24年9月)のデータから、同一店舗で代理店に差分があるデータを抽出し、代理店が変化したキャリアショップを推定した。
- ・同一店舗の判断基準は店舗名を基本としたが、店舗名が異なっているも住所に変化がないものも同一として取り扱った。また、社名変更のみで実質的な運営代理店に変更がない場合など、軽微な差分については差分から除外した。
- ・また、あくまでデータ差分からの推定であり、運営代理店の移管状況と同等ではないことには留意いただきたい。

半年間で代理店が変化したのは93店舗

- ・その結果、93店舗の運営代理店に差分が出ていることが判明した。
- ・新旧代理店の情報は、同梱している店舗一覧データ(Excelファイル)に記載している。
- ・代理店の移管要因が判明したケースでは、代理店の破産、店舗運営事業の譲渡などによる一定規模での変化が目立った。

表:運営代理店に差分のあった店舗数(半年前との比較)

ブランド	店舗数
ソフトバンク	サンプル
NTTドコモ	
au	
楽天モバイル	
ワイモバイル	
UQ mobile	93
合計	

表:主な代理店移管店舗と移管の要因

対象ブランド	移管の要因	移管店舗 ※()内は移管後の代理店
au	2025年4月1日、吸収分割により接続のauショップ事業をITXコミュニケーションズに承継	・auショップ 日立 ・auショップ 千葉 ・auショップ 寝屋川池田 など合計19店舗
ソフトバンク	サンプル	
au		
ソフトバンク		
ソフトバンク		
au		
ワイモバイル		

III. キャリアショップ数の都道府県別推移(2022年8月以降)

*同梱しているExcelファイルには、2019年2月以降の店舗数推移を掲載しております。
→ファイル名:careershop-2025-spring-db3.xlsx

1. キャリアショップ数の都道府県別推移(2022年8月以降)

サンプル

表: キャリアショップ数の都道府県別推移【ソフトバンク】

	22年8月	23年2月	23年8月	24年2月	24年9月	25年3月
北海道						
青森県						
岩手県						
秋田県						
宮城県						
山形県						
福島県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
埼玉県						
千葉県						
東京都						
神奈川県						
山梨県						
長野県						
新潟県						
富山県						
石川県						
福井県						
静岡県						
愛知県						
岐阜県						
三重県						

サンプル

	22年8月	23年2月	23年8月	24年2月	24年9月	25年3月
滋賀県						
京都府						
大阪府						
兵庫県						
奈良県						
和歌山県						
鳥取県						
島根県						
岡山県						
広島県						
山口県						
香川県						
愛媛県						
徳島県						
高知県						
福岡県						
佐賀県						
長崎県						
熊本県						
大分県						
宮崎県						
鹿児島県						
沖縄県						
合計						

サンプル

キャリアショップの展開状況と店舗・代理店一覧 2025春

(集計結果編)

発刊日: 2025年05月19日
頒価: 99,000円(本体90,000円+税)
調査・編集: 株式会社 エムシーエイ
発行: 株式会社 エムシーエイ
〒163-0649
東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル49F
TEL:03-5325-0222
URL:<http://www.mca.co.jp/> E-Mail:info@mca.co.jp

キャリアショップ店舗・代理店一覧「カスタムデータ」のご案内

MCAでは、2019年よりキャリアショップの店舗データを定期的に収集しています。
また、2024年9月の調査からは、店舗を運営する代理店のデータも収集を開始しています。

これらのデータをもとにした「カスタムデータ」をご提供させていただくことも可能です。

- ・過去のデータとの差分情報を詳しく知りたい
- ・特定のエリア、特定のキャリアに関するデータの推移が知りたい
- ・市区町村別の経年変化を追いたい

など、お気軽にご相談ください。

■カスタムデータに関する詳細・お問い合わせ
株式会社 MCA
〒163-0649
東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル49F
TEL： 03-5325-0222
E-Mail： info@mca.co.jp



情報通信分野の市場調査「カスタムプロジェクト」のご案内

MCAは市場環境・動向、競合企業戦略、ユーザーニーズなどの分析を通じ、事業戦略立案に貢献できる情報を提供します。

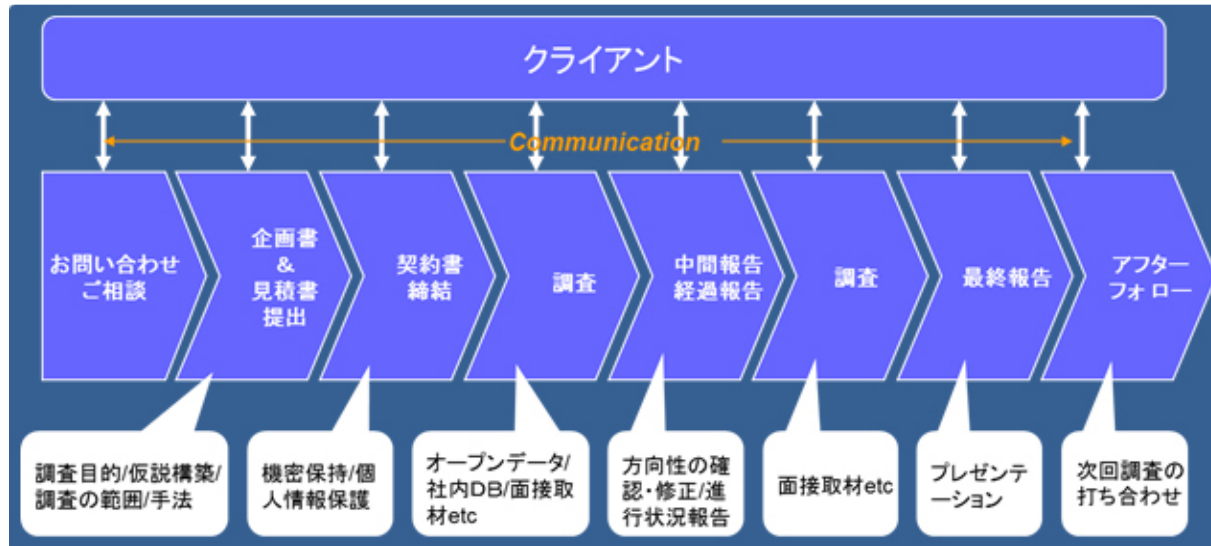
MCAでは、マーケティングレポートの提供とあわせ、市場調査「カスタムプロジェクト」事業を展開しています。

カスタムプロジェクトはクライアントの委託を受け、当社スタッフが調査分析を行います。市場環境/市場動向分析・競合企業戦略分析、ユーザーニーズ分析などを必要に応じて行い、事業戦略立案に役立つ情報を提供します。プロジェクトの受注にあたり、お客さまとの秘密保持契約を締結した上で進めさせていただき、情報が外部に漏れることはございません。

MCAでは、移動体通信産業をコアとしたIT分野で、年間10本程度のカスタムプロジェクトをドライブしています。

MCAのアナリストは常に業界関係者とのコミュニケーションを重視しており、継続的な情報収集を行っています。カスタムプロジェクトでは、お客さまとの密接なコミュニケーションが最終的なアウトプットに大きな影響を及ぼすというのがMCAの考えです。

■カスタムプロジェクトのフロー



情報通信分野の市場調査「カスタムプロジェクト」のご案内

■カスタムプロジェクトのドメイン

Menu Angle \ Market		mobile/IT					
		Contents	Application	Platform	Network	Handset	Device
Regulation/Technology		●	●	●	●	●	●
Market	市場規模/シェア	●	●	●	●	●	●
	市場予測/シナリオ	●	●	●	●	●	●
	ニーズ探索	●	●	●	●	●	●
	流通チャネル	●	●	●	●	●	●
competitor	事業戦略・組織	●	●	●	●	●	●
	商品・サービス競争力分析	●	●	●	●	●	●
	市場ポジショニング分析	●	●	●	●	●	●
	サプライチェーン	●	●	●	●	●	●
Consumer		●	●	●	●	●	●

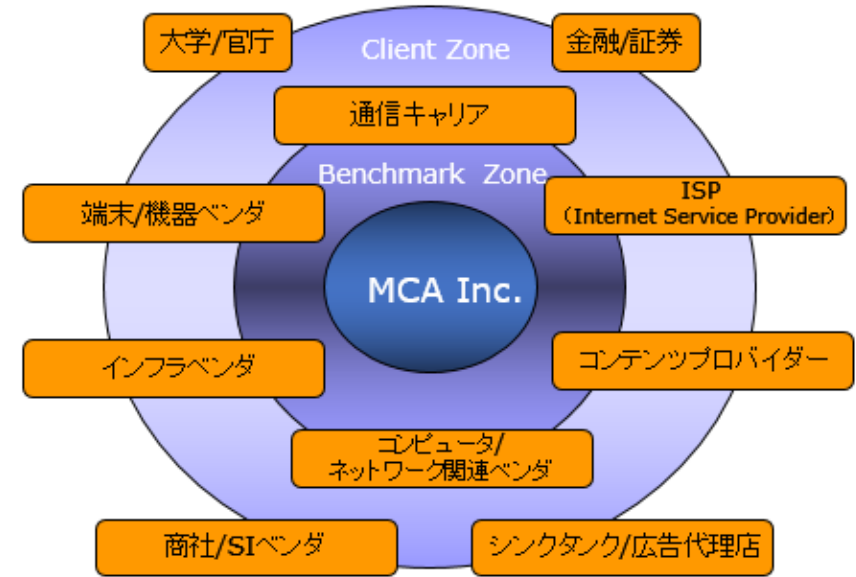
■ MCAのドメイン ■ MCAのサブドメイン

情報通信分野の市場調査「カスタムプロジェクト」のご案内

■過去のカスタムプロジェクト実績(一例)

テーマ(仮題)
法人事業の競争力強化へ向けた戦略調査
基地局附帯設備のコスト構造に関する研究
通信事業者のデジタルトランスフォーメーションへの取り組み分析
携帯代理店の競争環境に関する研究
国内通信インフラ事業参入における競合他社実態調査
特定端末のサービス保守に関する調査
競合他社における携帯端末のサプライチェーンに関する研究
特定通信設備に関するフィージビリティスタディ分析
LTE時代におけるサービスプラットフォームに関する研究
携帯基地局におけるコスト削減プロジェクト
MVNO参入へ向けたコンサルティングプロジェクト
LTE時代におけるサービスアプリケーションの探索調査
モバイルブロードバンドの将来展望
MVNO市場における参入シナリオ
通信キャリアのインフラ戦略
海外ベンダーの国内参入コンサルティング
無線LANサービスに関する需要予測

■クライアント属性



■カスタムプロジェクトに関する詳細・お問い合わせ

株式会社 MCA

〒163-0649

東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル49F

TEL: 03-5325-0222

E-Mail: info@mca.co.jp



<http://www.mca.co.jp>